報道資料

千 葉 県

CHIBA　Chiba Prefectural Government

令 和 ７ 年 ９ 月 １ ８ 日
商　工　労　働　部
カーボンニュートラル推進課
０４３－２２３－４５５２

洋上風力発電事業に関する国への要望について

本日、洋上風力発電事業について、千葉県知事から経済産業大臣及び国土交通大臣に対して要望を行いました。

１　要 望 先　　武藤 容治　経済産業大臣
（経済産業省本館１１階　大臣室）
安部　賢　国土交通省 港湾局長
（国土交通省８階　港湾局長室）

２　要 望 者　　千葉県知事　　熊谷　俊人

３　要望内容　　別添のとおり

経済産業大臣　　武藤　容治　様

国土交通大臣　　中野　洋昌　様

銚子市沖洋上風力発電事業における
選定事業者の撤退に伴う要望について

令和７年９月１８日

千葉県知事　　熊谷　俊人

本県では、再生可能エネルギーの主力電源化に向けた切り札として期待される洋上風力発電の導入促進と、それによる関連産業の集積など地域経済の活性化に向けた取組を進めているところです。

このような中、千葉県銚子市沖を含む第１ラウンドの３海域について、国が公募により選定した事業者が、令和７年８月２７日に、事業からの撤退を表明しました。

これまで県や地元では、洋上風力発電事業に期待して様々な事業に取り組み、また、準備をしてきたことから、選定事業者の撤退という結論は大変遺憾であると申し上げざるを得ません。

本県としては、銚子市沖は豊かな風況に恵まれた適地であることに加えて、地元の洋上風力発電に対する期待も大きいことから、引き続き洋上風力発電の導入促進を進めていきたいと考えており、将来にわたって、安定して確実に洋上風力発電事業を完遂できるようにするため、下記のとおり要望します。

記

１　事業環境の整備及び早期再公募の実施について

国の事業者選定において、財務計画は適切と評価されていたことから、県としては、この評価を信頼し、また、国のエネルギー政策に貢献する観点からも、名洗港の整備等の事業を推進してきた。その最中で、洋上風力業界を取り巻く事業環境が世界的に大きく変化したことなどを理由に、選定事業者が撤退の判断に至りました。

そのため、選定事業者の撤退が二度と起こらないよう、インフレや為替変動、金利上昇などがあっても、確実に事業完遂が可能となるような制度の見直しなどによる事業環境の整備をお願いしたい。

また、銚子市沖洋上風力発電事業について、事業者不在の期間が可能な限り短くなるよう、再公募の早期実施をお願いしたい。

２　銚子地域の未来づくりに向けた取組について

地元と選定事業者がこれまで取り組んできた漁業共生や地域振興の取組を継続し、関係者が今後も共に、銚子地域の未来づくりをどのように進めていくのかを検討するため、令和７年９月１２日に「銚子地域の未来創造会議」を設置したところです。

本県としては、撤退という結論だけでは済まされず、選定事業者には地元への責任を果たしていただく必要があると考えています。

貴省におかれては、同会議にオブザーバーとして参画していただけることになっていますが、銚子地域の未来づくりに向けた取組について、選定事業者がこれまで事業を担ってきた者の責任として、責務を果たすよう働きかけをお願いしたい。